

霧島市長

中重 真一

誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり



**市民の生涯健康を目指し
健康づくりや病気予防を支援**

霧島連山の雄大な自然や、そのふもとから湧き出る温泉に恵まれた地、霧島市。大いなる自然と共に、活力ある地域社会を築くためには市民が生涯にわたり心身ともに健康であることが重要と考えている同市だが、どのような健康づくりに取り組んでおられるのだろうか。中重真一市長に、健康に暮らせるまちづくりへのビジョンやご自身の健康法等について、お話を伺った。

——霧島市における健康に暮らせるまちづくりへのビジョンについてお聞かせください。

本市の総合計画では、基本方針を「世界にひらく、人と自然・歴史・文化がふれあう都市」と定め、目指す将来像を「人にやさしく、人をはぐく

む一人ひとりが輝きにぎわう多機能都市」と位置づけています。さらに、健康福祉分野における基本方針を「やさしさ 誰もが支えあいながら 生き生きと暮らせるまちづくり」と定めています。

我が国では、都市化や核家族化が進み、一人暮らし世帯や高齢者ののみの世帯が増加するなど、家族構成や家族の役割が大きく変化しており、高齢化に伴う医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれています。

本市におきましても、年少人口（14歳以下）及び生産年齢人口（15歳～64歳）が減少している一方で、老人人口（65歳以上）が増加している状況にあります。このような状況の中、様々な立場の地域住民が役割を分担し、支え合いながら、自分らしく活躍できるコミュニティを育成し、公的な福祉サービスと融合した、地域における包括的な支援体制を構築していく必要があると考えています。

また、活力ある地域社会を築いていくためには、市民が生涯にわたり心身ともに健康であることが重要です。そこで、ライフステージや個人の健康状態に応じた健康づくりや病気の予防を支援し、霧島市立医師会

病気の予防・重症化させない取り組みが 医療費適正化につながる

——力を入れておられる取り組みや、特色のある取り組みについてお聞かせください。

本市の1人当たりの医療費は、県内平均より5%程度高く、地域差指数も鹿児島県が1・197のところ、本市は1・319で県内でも4番目に高い状況です。私は、市民が生涯にわたり心身ともに健康で暮らしていくことは、活力ある地域社会を築くために、重要であると考えています。また、心身ともに健康で暮らしていくためには、健康状態に応じた健康づくりや病気の予防、特に、生活習慣病を予防し重症化させない取り組みが、最も重

医療センターの機能拡充などにより、保健・医療体制の充実を図つていくこととしております。

さらに、妊娠期から乳幼児期までの切れ目のない支援により、誰もが安心して子どもを産むことができ、子育てに幸せや楽しさを実感できる環境を整備し、共生社会の実現に向け、子どもを含む障がい者に対する支援の充実を図り、誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくりに取り組んでいるところです。

要であると考えています。この取り組みにより、医療費が県内でも高い状況にある本市の医療費の適正化にもつながるものと考えています。

特定健診の受診率向上のために

生活習慣病の予防や早期発見のために、特定健診などを受けることが重要ですが、平成29年度の霧島市の特定健診受診率は44.2%で、県内平均の41.4%を上回つてはいるものの、国が掲げる市町村国保の受診率目標値60%にはほど遠い状況です。このため、現在は、受診率を上げるために取り組みに力を入れているところです。

具体的な取り組みといたしましては、FMきりしまに職員が出演して受診を呼びかけたり、広報誌に特定健診の特集ページを掲載したり、本市で行う「健康福祉まつり」に特定健診受診を呼びかけるブースを設置したりするなどの取り組みを行っているところです。

また、本市の特定健診受診期間は5月から10月の6か月間ですが、平成30年度からは9月中旬時点の未受診者に対し、「特定健診を受けましょう」と大きな文字とイラストを表示したはがきの送付を始めました。



特定健診・特定保健指導に関するパネル展示や、「脳年齢計」「リアクション」の体験コーナーで、特定健診に関するPRを行なう

歩くことを意識して無理のない運動習慣を身につける

ー市長自身の健康について、普段から心がけていらっしゃることがありましたらお聞かせください。

エレベーターは極力使いません。階段を使い、歩くことを意識してしまったりするなどの取り組みを行っているところです。

また、本市の特定健診受診期間は30年度からは9月中旬時点の未受診者に対し、「特定健診を受けましょう」と大きな文字とイラストを表示したはがきの送付を始めました。

て水分補給をたっぷりと。霧島茶をマイボトルに淹れて持ち歩き、常に飲めるようにしています。

9月時点の未受診者全員に送付する特定健診受診奨奵はがき

自然美・歴史・温泉・霧島茶・黒酢 魅力あふれる霧島市

の「霧島商社」が有機抹茶を使ったご当地ハイボール「霧島茶ハイボール」の提供を始めました。ぜひ一度お召し上がりいただければと思います。

また、「日当山西郷どん村」に物産館や足湯が完成し、1月23日にグランド

オープニングしております。

物産館にはレストランと観光案内所があり、レストランではランチタイムに地元食材をふんだんに使ったビュッフェ料理をお楽しみいただけます。

特産品販売所では、市内の農畜産物や加工品、工芸品、酒類などを取扱い、霧島ガストロノミー推進協議会が認定するブランド「ゲンセン霧島」の商品コーナーもあります。

さらに、足湯では敷地内の泉源から温泉を引いており、車椅子の方にもご利用いただけるようになっています。ぜひ、一度お越しください。



中重市長や生産者らが首相官邸を訪問安倍首相に「日本一」の霧島茶を贈呈



1月23日にグランドオープンした「日当山西郷どん村」